

「困っています！レジ袋などの小袋にごみを入れないで出してください！」

「汚れを落として指定袋に入れてください！」

最近収集したプラスチック類ごみ（白色袋）の中に、異物（ペットボトル、汚れが付着したままのトレイ・カップ・チューブ、弁当の残りなど）が混ざっていることが多く見られ、このような場合リサイクルができない為、やむを得ず埋め立てる事になります。

また、指定ごみ袋の中にレジ袋などの小袋にごみを入れて出しているものも多く見られ、この場合には、異物が混入していないかを小袋から中身を出して確認しなければならず、大変な作業の妨げとなっております、困っています。

南空知公衆衛生組合から排出される資源ごみ（プラスチック類用）は、日本容器包装リサイクル協会の品質検査を毎年受けています。この検査で最低ラインの品質の評価がされなければ、改善を求められることもあり、最悪の場合は引き取りを拒否される可能性もあります。引き取りを拒否されると、その分の処理や多額の費用を自治体で負担しなければなりません。

（詳しくは、ごみの分け方・出し方のしおり20Pを参照してください。）

正しい分別がされていない例



白色袋の中にさらにレジ袋などの小袋にごみを入れて出しているもの（左の写真）

白色袋の中に中身が見えないような色付きの袋を入れ、さらに小袋をいれた三重袋になっているもの（右の写真）



分別へのご協力をお願いいたします！